

# お知らせ

## 症例検討会のご案内

北九州市立医療センターでは、地域の医療従事者の方々と一緒に医療技術向上のため、下記のとおり症例検討会を実施しています。

| 症例検討会名・開催日                                         | 時間・場所                       |
|----------------------------------------------------|-----------------------------|
| <b>■乳腺テクニカルカンファレンス</b><br>毎月 第2・4月曜日開催             | 時間：18時～19時30分<br>場所：別館6階 講堂 |
| 乳腺外科・放射線科・病理診断科の医師、放射線技師、臨床検査技師、スタッフで症例検討会を行っています。 |                             |
| <b>■呼吸器カンファレンス</b><br>毎週 火曜日開催                     | 時間：17時～18時<br>場所：別館6階 講堂    |
| 呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科・病理診断科の医師、スタッフで症例検討会を行っています。       |                             |
| <b>■消化管カンファレンス</b><br>毎月 第3木曜日開催                   | 時間：18時～19時30分<br>場所：別館6階 講堂 |
| 消化器内科・消化器外科・病理診断科の医師、スタッフで症例検討会を行っています。            |                             |
| <b>■周産期症例検討会</b><br>奇数月 第3水曜日開催                    | 時間：19時～20時30分<br>場所：別館6階 講堂 |
| 産婦人科・小児科・小児外科の医師、スタッフで症例検討会を行っています。                |                             |

※日程は都合により変更・中止になる場合がございます。事前に医療連携室へご確認の上、ご参加いただければ幸いです。検討ご希望の症例がございましたら是非ご持参下さい。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

## 市民公開講座のご案内

- ▶ 場 所：北九州市立商工貿易会館2階 多目的ホール
- ▶ 日 時：平成29年9月30日(土)  
受付開始：13時30分～  
講 演：14時～16時
- ▶ 参加費：無料(事前申込不要)

【お願い】  
施設には駐車場がありません。近隣の民間駐車場をご利用いただくか、公共交通機関をご利用ください。なお、駐車場の割引サービスがありませんので、ご注意ください。

【問合せ先】  
北九州市立医療センター事務局 管理棟 庶務課  
TEL.093-541-1831(内線 3104)  
FAX.093-533-8693



第66号 ● 平成29年8月1日発行  
 発行人：北九州市立医療センター 〒802-0077 北九州市小倉北区馬場2丁目1-1 TEL.093-541-1831 FAX.093-533-8693  
<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/hospital/center/>



# KMMCC Kitakyushu Municipal Medical Center 2017 August news



北九州市立医療センターニュース

## 第66号



＜本院の基本理念＞  
 わたくしたちは公共的使命を自覚し  
 心のこもった最高最良の医療を  
 提供します



HP：QRコード



FB：QRコード

最新の情報はHPで随時更新!

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| INDEX                         |    |
| 医療連携の会                        | 1  |
| 医療連携・こんにちは、医療連携室です!           | 3  |
| 医療連携・退院支援・退院調整のシステム構築         | 4  |
| 平成29年度 研修会プログラム               | 5  |
| 看護の広場・7階南病棟                   | 6  |
| 人物クローズアップ・姉妹都市ベトナムハイフォン市を訪問して | 7  |
| トピックス・放射線技術課RI部門の紹介           | 8  |
| 登録医のご紹介                       | 9  |
| 医療連携室だより                      | 10 |
| お知らせ・症例検討会・市民公開講座のご案内         |    |





北九州市立医療センター院長  
中野 徹

## 医療連携会にあたって

まず初めに、今回の平成29年7月九州北部豪雨により福岡県、大分県に多くの死者と被災者の方がおられます。北九州市においても全7区で2万世帯、5万人に避難指示が出されました。被災された方々、避難を余儀なくされた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

今回の連携会のテーマは北九州市立医療センターの現在と方向性といったしました。医療センターの現状をお示し、今後医療センターが地域医療に貢献するための方向性をご理解いただくためです。

### (1) 災害拠点病院の機能

7月の豪雨災害に際して、北九州市災害医療作戦司令センター（DMOC）が迅速に機能し、当院も被災者の受け入れ準備、DMAT出動待機を行いました。近隣の災害拠点病院との連絡網も機能し、北九州市における災害発生時に連携機能が迅速に働くことが確認できました。

### (2) 地域がん診療連携拠点病院の機能

県内18ヶ所のがん拠点病院では、全症例のがん登録が義務化され、正確な予後調査が行われております。実績や五年生存率も公表しており、五大がんいずれのがん種においても、当院は、地域のがん患者さんに貢献しております。

### (3) 総合周産期母子医療センターの機能

通常の周産期母子医療センターは24週以降の母体に対応しておりますが、当院の総合周産期母子医療センターは22週以降の母胎に対応可能な高度な機能と体制を有しております。

### (4) 生活習慣病に対応する機能

ひとくくりで説明は困難ですが、肩関節、脊椎のパイオニア的な鏡視下手術、オフポンプ平均3.8枝冠動脈バイパス術をはじめ、循環器・呼吸器疾患、膠原病内科、泌尿器科、心療内科、糖尿病内科、皮膚科などで地域に貢献しております。

### (5) 第二種感染症対策医療機関の機能

政策医療であり中東呼吸器症候群（MERS）、鳥インフルエンザなどに対応可能な16床を有しておりますが、通常はほぼ空床で推移しています。

次に、病診連携をより推進するための当院の取り組みをいくつか紹介させていただきます。

#### (1) ホームページの刷新

当院ホームページでは、症例数のみでなく、がん登録やNCDデータベースに基づく生存率等を含む正確な実績を公表しております。

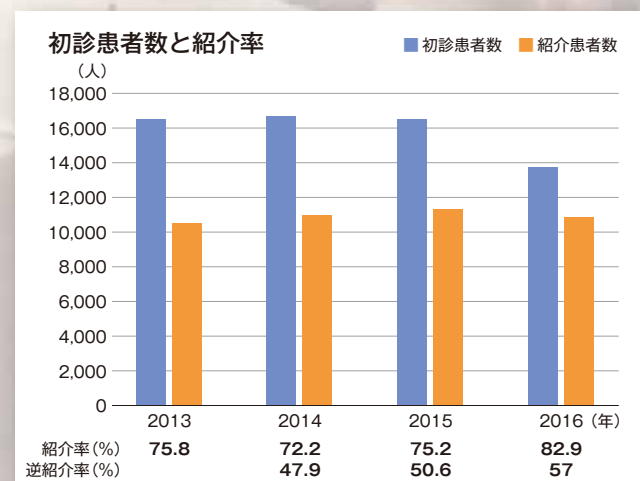
#### (2) 返書システムの構築

本来100%であるべき報告書の作成が数年前まで10%の未報告があることが判明し、返書システムを構築いたしました。現在は、ほぼ未報告無しにまで改善しております。

#### (3) 循環器疾患24時間対応のホットライン

まだ認知度は低いのですが24時間対応のホットラインを新設しております。

上記にて、当院の方向性は述べましたが、当院の機能が医療資源として最大限地域に貢献できるか、地域医療構想の中で決めてまいります。1873年開設の当院が144年を経て公立病院の殻を脱ぎ、2019年4月独立行政法人化を目指すことが決まりました。適正な職員採用・配置による機能分化で無駄の排除や効率化が進み、患者さんと地域医療機関の方々にさらに信頼いただける病院を目指します。今後とも市立医療センターをご理解いただき、叱咤激励いただきますようお願い申し上げます。



副院長  
岩下 俊光

## 医療連携室長を拝命して

この4月から中野徹副院長（現院長）の後任として医療連携室長を拝命しました。今まで保険診療委員会と医の倫理委員会、治験審査委員会を担当してきましたが、地域の医療機関、施設の皆様との連携を任せられ、その責任の重さに、身の引き締まる思いです。

当院は2002年に地域がん診療連携拠点病院に承認され、医療連携室が設置されました。2011年に地域医療支援病院として承認され、医療連携の役割が飛躍的に拡大してきています。医療連携室の主な業務は、前方支援（地域医療機関との医療連携）、後方支援（入院および外来患者さんへの支援）、側方支援（地域医療機関への情報提供）です。

医療連携室では、「地域医療支援病院運営委員会」を年2回開催し、各医師会の先生方からのご意見を賜り、改善を図っております。また、同じく年2回開催している「開放病床等の共同利用に関する運営委員会」にて地域の先生方からもご意見をいただいております。開放病床のご利用に興味をお持ちの先生方、お気軽に医療連携室へご連絡ください。2つの委員会での主要な議題となっている「連携ネット北九州」では、6月5日より第3ステップとして退院時要約、中間要約、看護要約、患者情報シート、リハビリ要約を公開し、ネット上で閲覧できるようになりました。今後も、より便利にご利用いただけるようにシステムの問題点の検証、改善を行い広報に努めてまいります。是非、ご利用ください。



医療連携室の入口です



左：岩下医療連携室長、右：尼田地域医療連携推進担当部長  
タッグを組んで、皆様との医療連携をより深めていきたいと思ひます。

人員体制は、4月から婦人科の尼田覚統括部長が地域医療連携推進担当部長に、長瀬国利が地域医療連携推進部長に、山本智美が地域医療連携推進担当課長として加わり、総勢17名体制となりました。さらに7月より医療連携室業務時間を2時間延長（予約受付時間／16:30→18:30）し、地域の皆様方からの問い合わせを今まで以上に受けられる体制を整えております。

2025年（団塊の世代が75歳以上になる）を目途に住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域医療連携はますます重要となります。前方支援、後方支援、側方支援を通じて、地域の医療機関、施設の皆様方との医療連携を一層密にさせていただき、地域住民の皆様、に、切れ目のない医療を提供できるように取り組んで参ります。

どうぞ、今後とも当院との連携にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。





## こんにちは、医療連携室です！

日頃より、地域の医療機関の皆さまには、大変お世話になっております。

医療連携室は、地域の医療機関より、ご紹介などを担当する前方支援担当と退院支援を中心とした後方担当とで日々患者さんご家族へのサービス向上へ向け取り組んでおります。

ここで、今年度のこれまでの医療連携室の取り組みについてお知らせいたします。

### 4月より紹介患者さんへの時間予約制を開始いたしました

紹介患者さんの初診時の待ち時間短縮へ向けた取り組みの一環として開始しました。

※紹介元医療機関様よりご予約となります。

### 6月より「連携ネット北九州」の公開内容を追加しました

これまでの検査予約・データ閲覧に加え、

退院時要約、中間要約、看護要約、患者情報シート、リハビリ要約の公開を行っております。

今後も連携ネット北九州の運用改善、利便性向上に向け取り組んで参ります。ぜひ、ご利用ください。

ご利用に際しましてのご質問等あればご説明に伺います。



### 7月より紹介患者予約受付け時間を延長しました

紹介患者さんの予約受付け時間を16:30⇒18:30までに延長しました。

※時間外の診察依頼につきましては、現行どおり時間外受け付け(TEL.093-541-1831)にご連絡ください。



## 退院支援・退院調整のシステム構築

PMF(patient flow management)に取り組まれている病院が増えてきています。当院でも外来看護師との連携を図り、入退院センターで退院調整看護師が患者さんと面談し情報収集を行い、退院支援一次スクリーニング、アセスメントを一部の科で開始しました。早期に病棟看護師と情報共有を行い、患者さんの支援内容の検討、退院支援カンファレンスを行っています。

今後、診療科の拡大や多職種との連携を進めていくことに課題はありますが、切れ目のない医療の提供

ができ、患者さん・ご家族が安心して治療・サービスを受けられるよう努めていきたいと考えています。

医療の機能分化・在院日数の短縮の中、患者さんの意思決定を支えることは医療者の重要な役割です。緩和ケア、医療処置のある患者さんが在宅療養を希望されており、支援内容を在宅で継続させていくための退院前カンファレンスの件数も増加しています。地域の先生、訪問看護師、介護支援専門員と顔の見える連携を行い、患者さんが安心して在宅療養できるように支援を行っていききたいと考えています。



■退院相談件数

| 退院相談 | 2015年度 | 2016年度 |
|------|--------|--------|
| 退院相談 | 654    | 775    |
| 転院   | 453    | 511    |
| 自宅   | 144    | 203    |

■在宅部門連携件数

|       | 2015年度 | 2016年度 |
|-------|--------|--------|
| 介護連携  | 44     | 43     |
| 退院時共同 | 36     | 77     |



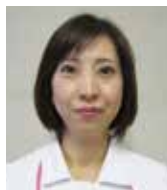
平成29年度 研修会プログラム

| 日程                                           | テーマ(予定)                                                                 | 講師(予定)                                                                                     |
|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成29年<br>4月27日(木)<br><small>(終了しました)</small> | 急性期病院から在宅へ                                                              | 統括部長 山野 裕二郎<br>地域医療連携推進担当係長 播磨 由美                                                          |
| 5月25日(木)<br><small>(終了しました)</small>          | 長寿社会における口腔ケアの重要性                                                        | 九州歯科大学歯学部<br>准教授 藤井 航                                                                      |
| 6月27日(火)<br><small>(終了しました)</small>          | 今後の医療制度の動向と北九州の病床機能について                                                 | 事務局長 西原 正人<br>医療安全担当課長 杉本 優子                                                               |
| 7月25日(火)<br><small>(終了しました)</small>          | 国が進めるがん連携パスについて                                                         | 院長 中野 徹                                                                                    |
| 9月28日(木)                                     | 高齢化社会 転倒予防に向けて<br>1. 転倒予防と骨粗しょう症<br>2. 転倒予防のための生活環境整備<br>3. 高齢者虚弱と転倒の関係 | 1. 整形外科・リハビリテーション科主任部長 吉兼 浩一<br>2. リハビリテーション技術課 作業療法士 森川 真博<br>3. リハビリテーション技術課 理学療法士 周山 真武 |
| 10月26日(木)                                    | 感染対策のポイント<br>～問題となる耐性菌と抗菌薬の適正使用について～                                    | 総合診療科主任部長 眞柴 晃一<br>感染管理認定看護師 田中 裕之                                                         |
| 11月30日(木)                                    | 進歩する脳神経外科医療<br>1. 機能温存を目指した脳外科手術<br>2. 近年の脳卒中リハビリテーションの進歩               | 1. 脳神経外科科主任部長 溝口 昌弘<br>2. リハビリテーション技術課 作業療法士 森川 真博                                         |
| 12月14日(木)                                    | 甲状腺疾患の診断と治療<br>1. 甲状腺機能異常の鑑別<br>2. 甲状腺がんに対する手術と補助療法                     | 1. 甲状腺内科医師 萬代 幸子<br>2. 外科部長 古賀 健一郎                                                         |
| 平成30年<br>1月25日(木)                            | がん薬物療法<br>1. 治療の進歩<br>2. 支持療法の進歩                                        | 1. 腫瘍内科科主任部長 若松 信一<br>2. 薬剤師長・がん薬物療法認定薬剤師 米谷 頼人                                            |
| 2月22日(木)                                     | 食道がん、膵臓がん最近の治療<br>1. 食道がん外科治療の現況<br>2. 膵臓がんの化学療法と補助療法                   | 1. 外科部長 渡部 雅人<br>2. 消化器内科部長 植田 圭二郎                                                         |
| 3月 8日(木)                                     | 肺がんの最近の治療<br>1. 肺がん薬物療法の最新情報<br>2. 肺がんの外科治療<br>3. 肺がんに対する鏡視下手術          | 1. 呼吸器内科科主任部長 井上 孝治<br>2. 呼吸器外科科主任部長 濱武 基陽<br>3. 呼吸器外科副部長 水内 寛                             |

地域かかりつけ医の先生方はもちろんですが、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、リハビリテーションスタッフ、訪問看護ステーション、介護施設等の医療従事者を対象とした研修会ですので、多数のご参加をお待ちしております。また上記以外にも認定看護師主催研修や医療安全研修会などを開催する予定です。日程が決まり次第ご案内いたしますので、ぜひご参加ください。 ※ 事前申し込み不要

【場 所】 北九州市立医療センター別館6階 講堂  
【時 間】 18:30～(1時間～1時間30分程度)  
※当院の有料駐車場(～3時間100円)をご利用いただけます。  
【問合せ先】 医療連携室 TEL.093-533-8660 FAX.093-533-8718

看護の広場 7階南病棟



7階南病棟 看護師長 山口 香織

7階南病棟は、循環器内科18床、心臓血管外科10床、糖尿病内科9床、消化器内科12床、計49床の4科からなる混合病棟です。看護師27名(看護師長1名、主査3名)と夜勤専従看護師2名、看護補助者5名で力をあわせて看護を行っています。ナースステーションの壁には24名分の心電図モニターがつねに作動しており、体感温度はかなり高くなっています。そのような暑い(熱い)病棟で医師、PT、OT、STのリハビリスタッフ、薬剤指導や栄養指導に求められる薬剤師や栄養士の方などとのチーム医療にも積極的に取り組んでいます。毎週木曜日は糖尿病カンファレンス、毎週金曜日は循環器内科・心臓血管外科のリハビリカンファレンスを行っています。多職種でカンファレンスを行うことで患者さんの情報共有や今後の方向性などを皆で確認し、治療や看護につなげています。

近年、80～90歳台の高齢の患者さんも多く、高齢化に伴い認知症の患者さんも入院されてきます。患者さんから学ぶことも多く、つねに患者さんの思いをしっかりと受け止めて安心感を与えられるよう、優しさと笑顔で頑張っています。特に認知症看護についてはこれからの課題であると考えます。認知症の患者さんとコミュニケーションがうまく図れて笑顔が見られたときは本当にうれしいものです。患者さんが入院前の生活の場に戻れるよう、または入院前の生活に近づけるよう多職種のスタッフや医療連携室のスタッフとともにチーム医療で支え、退院支援にも力を入れています。「ここに入院して良かった」



と思われる看護をつねに目指しています。

私たちは看護部の理念にもある「人々に信頼される質の高い心温まる看護を提供する」ことをモットーに患者さんやご家族の支えとなれるように、今後もスタッフ一同、日々努力して参りたいと思います。



▲詰所は30℃!



▲糖尿病カンファレンス





## 姉妹都市ベトナム ハイフォン市を訪問して

看護部 感染管理認定看護師 主査

田中 裕之



ベトナムは平均年齢が28歳と非常に活気がある国で、北九州市との姉妹都市であるハイフォン市はハノイやホーチミン市と並ぶ中央直轄市です。今年、北九州市から私がプライベートで所属する男性看護師研究会「侍」の広報演舞チームに、ハイフォン市で開催される最も盛大なお祭典「火炎樹祭」への出演依頼をいただき、5月12日～15日の4日間国際交流に行かせていただきました。

チーム「侍」の紹介を簡単に。日本の男性看護師の割合は6.8%と他の先進国と比較しても少なく、まだまだ患者さんからも受け入れられている状況とは言えません。母校である小倉南看護専門学校では、男性看護師の存在を知ってもらうために2005年からわっしょい百万夏祭り(YOSA-KOI)へチーム「侍」としての参加を始めました。翌年、卒業生で男性看護師研究会「侍」を立ち上げ、現在は卒業生と在校生の混成チームとなっています。演舞の内容は、日本の歴史上大儀ある戦をテーマに構成しており、ベトナムでは薩長同盟をテーマに披露しました。本当に多くの市民の方が集まってくださり、たくさんのご声援をいただきました(写真1)。ハイフォン市外務局ホン副局長より「演舞は本当に感動した。この光景がベトナムの子どもから高齢者まで目に焼き付き、日本人の記憶として残っていくのが国際交流として重要な意味がある。」と仰っていただき、国際交流の意味深さを感じました。



▲写真1

今回、演舞出演だけではなくハイフォン医科大学やハイフォン国際総合病院の見学にも行かせていただきました。大学では「男子学生はコミュニケーション能力が低い、やりがいを持って半数は医師に転身する」という現状を聞き、同じ男性看護師としては胸が痛む思いでした。

国際総合病院では日本語の掲示板で、院長、副院長、看護部長、各科看護師長全員で迎えてくださり、また院長自ら案内をしてくださいました(写真2)。先進国に劣らない医療機器もありましたが、感染対策や医療安全の面で、まだまだ教育支援が必要であることを感じました。今後機会があれば、ベトナムの医療施設や医療従事者に感染管理の面で何かお役に立つことができればと思います。

最後に、まだまだスポットの当たっていない男性看護師に広報の機会をいただけたことに感謝しています。



▲写真2

## Topics トピックス

### 放射線技術課RI部門の紹介

本館2階の65番窓口でRI検査室があります。技師1名とクラーク1名が配置されています。

RI検査は放射性医薬品を注射、または服用し、取り込まれた特定の臓器から放出される放射線をカメラで検出することにより、目的臓器の機能や形態を調べることができます。

2015年12月に、2台のガンマカメラの内、1台をSymbia Evo-Excel(シーメンス社製)に更新しました。

検査種類の増加と質の向上に努めています。

新しい検査と画像処理についてご紹介します。



▲RI検査受付

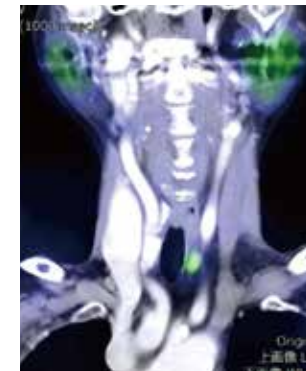


▲ガンマカメラ

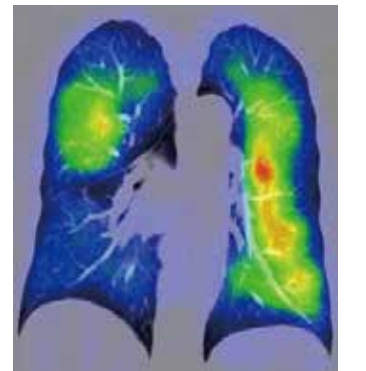
診療支援部 放射線技術課技師長 渡邊 一史



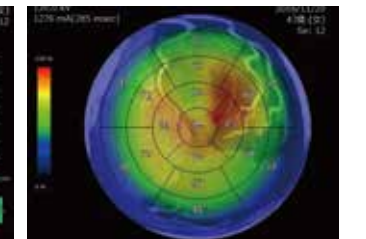
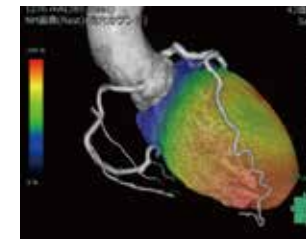
▶フュージョン画像処理でRI画像とCTやMRI画像との重ね合わせができます。



▲副甲状腺シンチ



▲肺血流シンチ



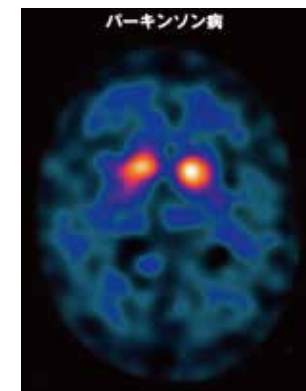
▲負荷心筋シンチ

また、2013年10月より、残存甲状腺破壊を目的としたI-131(1,110MBq)による外来治療、アブレーションを行っております。

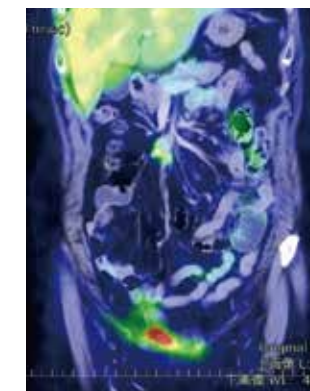
昨年度、その件数の増加に対応するため、I-131年間使用量を3倍に増やしました。

さらに今年度は、塩化ラジウム(223Ra)を用いたゾーフィゴ静注(RI内用療法)ができるよう、準備をしているところです。ゾーフィゴ静注は骨転移を有する去勢抵抗性前立腺癌(CRPO)の治療薬として開発された、世界初のアルファ線放出放射性医薬品で、その効果が期待されることです。

最後になりましたが、先生方の要望を多く取り入れ、紹介患者さんに還元できるよう、スタッフ一同、努力しておりますので、今後とも、よろしくお願いいたします。



▲ダットスキャン



▲オクトレオスキャン

▶ダットスキャンはパーキンソン症候群及びレビー小体型認知症の早期診断に寄与します。

▶オクトレオスキャンはソマトスタチン受容体が高頻度で発現している神経内分泌腫瘍を画像化する、In-111全身シンチグラフィです。



登 録 医 師 の 紹 介

**+** INFORMATION  
 所 在 地：小倉北区中井3丁目17-8 院 長：弓削 哲二  
 電話番号：093-562-6050 診療科目：小児科  
 F A X：093-562-6055

ゆげ小児科クリニック

| 診療時間        | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 8:30～12:00  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 14:00～18:00 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × |

※水・土曜日は午後12時30分まで



アピールポイント

2011年4月より中井小学校近くで開業しております。地域の子供たちの成長と健康を見守りながら、日々診療にあたっております。なお、小児循環器専門医のため、心臓に不安をお持ちの方はお気軽にご相談ください。

市立医療センターへの一言

貴院が私の原点です。幼少期、当時の小児科医（廣澤先生・神田先生・原口先生・村上先生・吉田先生・戎先生）と接したことがきっかけで、医師を志しました。初心を忘れず、患者さんのためにできることを第一に、しっかりと連携させていただきたいと存じます。これからもよろしくお願いします。



**+** INFORMATION  
 所 在 地：小倉北区金鶏町5-22 院 長：藤尾 裕宣  
 電話番号：093-653-4658 理 事 長：藤尾 直美  
 F A X：093-653-4660 診療科目：内科、小児科、心療内科

なおみ&ふじおクリニック

| 診療時間        | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 8:30～12:30  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 15:00～17:30 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × |



左：理事長

右：院長

アピールポイント

内科疾患はもとより乳幼児健診、ワクチン接種、在宅末期がんの訪問診療など幅広い診療を、笑顔のスタッフ共々アットホームな雰囲気で行っています。理事長・院長自ら歌う院内音楽コンサートも、たくさんの患者さんから「どっちが本業かわかりませんね!」と、おだてられて盛り上がっています。

市立医療センターへの一言

しばしば小児科急性期疾患の後方支援をいただき、元気になって帰ってくる子供たちに私たちもパワーをもらいます。また、内科・外科をはじめ、各専門科にもお世話になることが多く、安心して地域医療に専念できます。これからもよろしくお願いします。



医療連携室だより

こんにちは、4月よりがん相談支援センターに配属になりました、がん相談員の堀です。

がん相談センターは、患者さんやご家族のほか地域の方々など、どなたでも無料で相談できる場所です。がんの検査・治療・副作用、セカンドオピニオン、経済的問題、医療者との関係、緩和ケアなどさまざまな相談に応じています。「告知を受けた後、頭が真っ白で何を話してよいかわかりません」が来ましたが「涙が止まりません」という方も、お話していく中でだんだんと落ち着かれ帰宅されます。

日々、患者さんの悩みに耳を傾け、的確なアドバイスができるよう努力しています。

また、お越しになる方々の心が少しでも和むよう、季節ごとに、手作りの額を掛けたり、七夕の笹飾りを飾ったりしています。

これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

がん相談支援センター 看護師 堀 真由美



▲がん相談支援センター入口



▲七夕にあわせて、笹飾りを作りました



▲仕事風景「頑張っています!」



▲相談室はプライベートに配慮した個室です

【医療連携室】

TEL 093-533-8660(直通) FAX 093-533-8718 <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/hospital/center/>  
 E-mail:byou-iryou-renkei@city.kitakyushu.lg.jp ※患者さんのご紹介は、E-mailでは受付けておりません。

編集  
後記

「輪」の編集に初めて携らせていただきました。広報誌の編集は文関小学校4年2組のガリ版学級新聞以来です。今号は連携室を中心に紹介させていただきました。当院の連携室を気軽にご利用してみようと思っただけでしょうか。

次号からも当院の情報を楽しく伝えるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

(尼田)

【表紙写真について】

外來ロビーの大きな柱に描かれている絵をご存知ですか。トナス・カボチャダムスこと川原田徹氏の「にこにこ元気まち」です。柱を一周鑑賞してみてください。不思議な楽しい絵です。また、カボチャダムス国立美術館は門司の名所の一つです。そちらへもどうぞ。

広報委員会「輪」編集委員

尼田 覚 重松宏尚 坂井 寛 大津博恵 小野弘美 森崎恵美子  
 石井隆義 松本順子 高見将彦 佐藤美登里 天野健司 中山俊輔